

- (4) 非合金快削鋼
- (5) エンジニアリング鋼の棒
- (6) ステンレス鋼又は耐熱鋼
- (7) 高速度鋼
- (8) 不定形工具鋼
- (9) 棒鋼

以上について、それぞれ討議を行い統一見解をまとめた。

第6回 SC2 分科会 開催日: 12月6日. 出席者: 吉田主査, ほか 11 名.

1. 事務局から示された「各元素の理由」と、川崎製鉄作成の「Ni 含有量の限界」の二つの資料に基づき、Ni, Mo, Ti, Si について、含有率改訂の理由付けの是非を討議した。

2. 鋼種区分については、Fine Steel の定義が不明確なため現行 CCCN を主張することにした。

第14回 SC7 分科会 開催日: 11月13日. 出席者: 石山主査, ほか 11 名.

1. 第9回国際会議出席報告. SC7の動き及び今後の計画について説明があつた。

2. N252 (工具鋼及び軸受鋼の炭化物分布測定方法) の検討. 検討の結果、回答期限の 12 月末日までには、多少の余裕があるので、コメント案を事務局で作成し、各委員に送付し意見をうかがった後、SC7事務局に提出することになった。

第11回 TC164 分科会 開催日: 11月27日. 出席者: 川田主査, ほか 16 名.

1. TC164/SC3 関係, ISO/TC164/SC3N174, 177, 178, 127, 176 について計量研究所の樋田案をもとに討議し、日本コメント案を作成した。

2. TC164/SC1 関係, ISO/TC164/SC1E28 コメント案について、試験機工業会の桑島氏から説明があり、討議された。この論議をもとに、試験機工業会に再検討

を依頼した。

3. 次回は 12 月 14 日とし、国際会議の出席者の人選も行うことにした。

第32回鋼質判定試験方法分科会 開催日: 11月13日
出席者: 石川主査, ほか 13 名.

1. 鋼の火花試験方法並びに鋼のサルファプリント試験方法の改正原案作成の審議経過報告があつた。

2. 顕微鏡試験方法・非金属介在物試験方法・結晶粒度試験方法についてのアンケートをもとに、JIS と ISO の整合に関して検討した。

第3回硬さ試験方法 JIS 原案作成分科会

開催日: 11月27日. 出席者: 川田主査, ほか 22 名.

ロックウェル硬さ試験方法 (案) を逐条審議した。特に、ロックウェル硬さ (A, B, C, E, F, G, H スケール) とロックウェルスーパーフィシャル硬さ (N, T スケール) を統合することが承認された。

鉄鋼標準試料委員会

第54/V 回常任委員会 開催日: 12月18日. 出席者: 川村委員長, ほか 13 名.

1. 標準値の決定

ハマスレー銑鉍石の Al_2O_3 の標準値を決定した。

2. マンガン鉍石の再分析

再分析要領に従って再分析を実施することになった。

3. 高純度鉄の製造について

WG会合での結果について説明があり、了承された。

4. 常任委員会の業務分担についての検討。

5. 細則改定についての検討

書 評

De Ferri Metallographia V — Fractography and Microfractography —

G. Henry and D. Horstmann

(Verlag Stahleisen m. b. H. (1979), A4 判, 445ページ)

鉄鋼材料の組織写真集として、すでにその高い評価の確定している、De Ferri Metallographia の第V巻が出版された。この巻も前の4巻と比べて勝るとも劣ることのないすばらしい写真集となつている。

第V巻はその副題の示すように、主に鉄鋼材料の典型的な破面を例にあげて、フラクトグラフィーを解説したもので、前の4巻までと同様に解説は独英仏の三ヶ国語で併記されている。本文は 164 ページ、写真 138 ページ (1 ページ平均 6 葉の写真) である。

本文は「破壊機構」「破面形態に及ぼす荷重型式の影響」「破面形態に及ぼす微細組織の影響」「フラクトグラフィーの事故解析への適用」からなっており、写真の説明を中心としたフラクトグラフィーの手際よい解説となつている。多くの場合、マクロ写真とミクロフラクトグラフが対比して示されており、断面の組織写真も示されている。写真が非常に鮮明で、人を引き付けてやまないのは紙質がよいためばかりでなく、著者の努力に負うところが大きい。

このような特徴をもつ本書は、破壊現象に関心を有する研究者ばかりではなく、材料の評価および破壊事故解析に携わる素材メーカー、ユーザー、ファブリケイターにおける技術者の必読の書といえよう。 (M. K.)